

623名、晴れやかに卒業

第七回 卒業式



日本工科大学卒業式

去る三月二十五日午前十時四十分、本学第七回卒業式が行われた。ふだんとは異なり、新調した背広姿が多く目についた卒業生、総勢六一三名。藤岡学長の「まことに社会情勢下、就職後はバイタリティと協調性をもって、使命感をもつて仕事に当つて欲しい」という言葉を胸にひびき、式後、卒業生は青空の下、晴れ晴れとした表情で「船出」して行った。

本日は本学第七回の卒業式を迎えた。諸君おめでとうございました。ご両親、ご家族もさぞお喜びのことと思います。明日より諸君は長い学生生活終え、一人の社会人として、新しい人生に出発するわけですが、諸君を迎える現在の社会情勢は、なかなか厳しいものがあり、前途の憂慮を許し

四年前のこの卒業式の時は、貿易問題、石油の値上げなどの難題を抱えておりました。

独創的な技術開発

四年前のこの卒業式の時は、

まだ高度経済成長の頂点にあ

った。いわゆる、温室効果である貿易問題、EC諸国との争いであるところ、資源が全くない国で、工業力ひとつを頼りに、世界の経

済大国になった国です。しかし、

日本はどこかと私は思は

ります。しかし、運営はまだ先

に生まれております。つまり、日本の高

度経済成長が始まる昭和三十年で

ころで、諸君の年齢は、戦後

の頃から立ち直つて、日本の高

度経済成長も一貫して足もとがゆるい

のであります。

ところで、諸君の年齢は、戦後

の頃から立ち直つて、日本の高

度経済成長も一貫して足もとがゆるい

のであります。

ところが、ヨーロッパの国々から

N.P.（国民総生産）の〇・九%以

下の世界最低で、そのお蔭で

われています。日本の軍事費はG

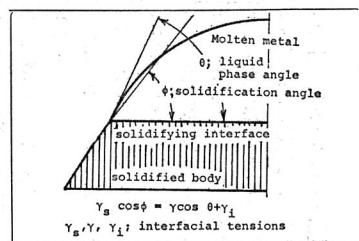
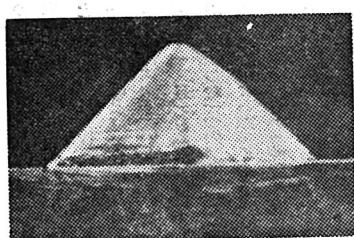
DP（国民総生産）の〇・九%以

下の世界最低で、そのお蔭で

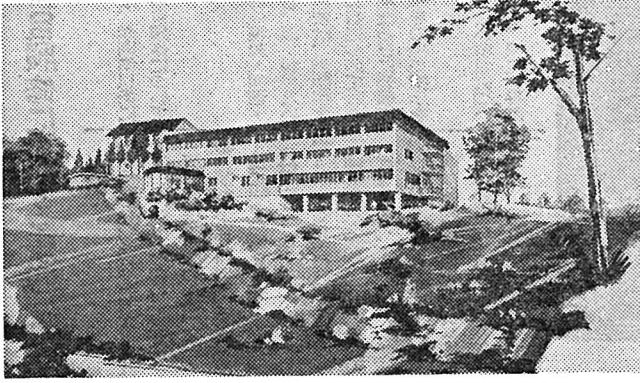
われています。日本の軍事費はG



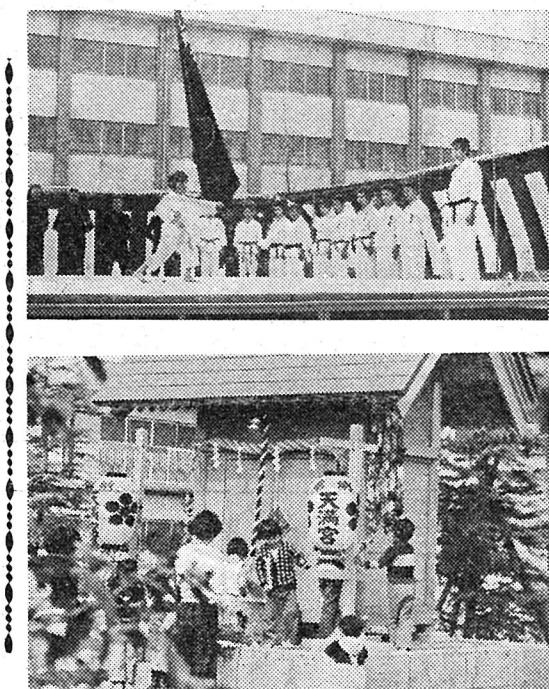
朝六時、ホテルの窓から見たボンダイビーチ（上）コーン形成途中の液相と固相の関係と凝固条件式（下右）円錐スパッター（石崎コーン）（下左）



赤山荘 ただ今増築中



東工学園の施設である「赤倉



初の例 大祭が催さる

業生、文章博士と當代學問の先驅として独走し、五十七歳正月に死

境
月九
月九
たぶるな望郷の念と仏法の諦
の交差するうち、みどり入と
な役をしていつた。神うしから
がひ
書斎懸
（和）
ける困難
と病魔の
恨むべ

中略
いまだ學業の勤むる
ことを知らぬことを
一年前を過ぐす
和頌朗詠集（公十四歳）
（筆部長・仲鳴正之）

天満宮境内におもろ

ちの窮屈
的生産を
閉じたと
いう。 第二、第三の犠牲が脈々と通る
ひとた
のを見る。
ひは位人
賀公の社前に、己を省みて
臣妾極め
焼。
ながらも 氷 水面に封じて開くに浪花
配所にお 雪 林頭に点じて見るに花も
ける因窮
と病魔の
恨むべし いまだ業績の勤むる所
——中略

